

各種協力の募集

大学生の方へ

◇連盟役員募集

証券研究学生連盟では、一緒に運営活動を行うメンバーを募集しています！
主な活動は、討論大会の企画・準備・運営です。同じ志をもった他大学の仲間や、知識豊富な大学教授の先生方、支援団体である日本証券業協会の職員の方々と相談を重ね、目標に向かって協力しながら活動することで、社会人として必要なスキルもたくさん身につきます。「全国規模の大会運営に興味がある」「他大学の学生と交流を持ちたい」「社会性・チームワーク力を高めたい」といった思いのある方は、ぜひご連絡ください！
※報酬はありませんが、大会中の食費・交通費は実費を支給いたします。



◇「証券ゼミナール大会」司会者の募集

討論の司会者を募集しています！
司会者は、大会において討論のマネジメントをする重要な役割です。参加者の学生が半年以上かけて取り組んだ研究の成果を存分に発揮し、効率的・発展的な議論を展開できるよう、指導講師と協力して討論の流れを作ったり、意見を整理したりします。「白熱した討論を目の当たりにしたい」「大会の成功に一員として協力したい」「就職・就活に向けて議論を整理・展開させる力を高めたい」など、少しでも関心のある方はぜひご連絡ください！
※報酬はありませんが、大会中の食費・交通費は実費を支給いたします。



大学教員・研究者の方へ

◇「証券ゼミナール大会」指導講師の募集

指導講師は、参加者の学生の研究評価・討論の指導・評価をする重要な役割です。
参加者の学生が半年以上かけて取り組んだ研究の成果に対して、専門家としての中立的立場からアドバイスと公正な評価を行い、最後には講評・優秀チームを選定していただきます。これからの証券業界・証券研究の発展を担う学生の指導者として、ご協力賜れば幸いです。ご検討いただく際には、ぜひご連絡いただければと存じます。
※報酬および大会中の食費・交通費（実費）を支給いたします。



証券研究学生連盟へのお問い合わせ

- 全日本証券研究学生連盟
- 証券研究関東学生連盟

TEL：03-6665-6765（呼出）
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-11-2 太陽生命日本橋ビル10階

- 証券研究関西学生連盟

TEL：06-6202-3188（呼出）
〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-5-5 大阪平和ビル4階 日本証券業協会内

- 証券研究中部学生連盟

TEL：052-262-2561（呼出）
〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-8-20 名古屋証券取引所ビル3階 日本証券業協会内

URL：<http://shougakuren.jp/> E-mail：shoukengakusei@gmail.com

2020.02

証券研究学生連盟



全日本証券研究学生連盟
証券研究関東学生連盟
証券研究関西学生連盟
証券研究中部学生連盟

<http://shougakuren.jp/>

協力： 日本証券業協会
JSDA Japan Securities Dealers Association

証券研究学生連盟とは？

証券・金融に関するテーマを研究、大学間の交流を図る

証券研究学生連盟は、証券・金融に関するテーマを理論的・実証的に研究するとともに大学間の交流を図ることで、証券研究の発展推進に寄与することを目的として1951(昭和26)年の創立以来、半世紀以上にわたり学生同士が協力しながら研究活動を続けている団体です。

主な活動は、毎年6月頃に東京、大阪、名古屋の3地区において証券・金融に関するテーマで大学生による討論大会や講演会を開催している「春季セミナー大会」のほか、毎年12月には、全国の大学の証券・金融に関するゼミナール・研究会が集まり、討論を行う「証券ゼミナール大会」を企画・運営しています。

大会の企画にあたっては、役員が大学生が毎月会議を行い、大会をより良いものにするために議論を重ねています。



討論風景

沿革

半世紀以上の歴史があります

戦後、財閥解体により大量放出された株式を国民に引き受けてもらうため、広く証券知識の普及を図ることを目的に証券民主化運動が展開されました。その一環として、将来を担う若者たちに証券市場の重要性を認識してもらうために創設されたのが証券研究学生連盟です。

1951(昭和26)年に4大学(中央、日本、早稲田、慶應義塾)の有志により、証券研究学生連盟が設立され、その後、証券研究関西学生連盟、全日本証券研究学生連盟(証券研究関東学生連盟と機能分離)、証券研究中部学生連盟をそれぞれ設立し、活動を全国に広げてまいりました。

証券研究学生連盟の活動は、当初、山一証券株式会社の支援を受けて行ってまいりましたが、1966(昭和41)年に山一証券株式会社から社団法人証券広報センターに受け継がれ、2005(平成17)年からは日本証券業協会に支援をいただきながら、現在に至っています。

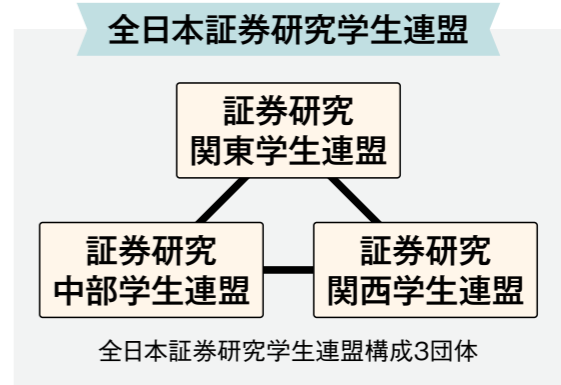
沿革	
1951年(昭和26)	証券研究学生連盟創設 (後の証券研究関東学生連盟創設)
1956年(昭和31)	証券研究関西学生連盟創設
1958年(昭和33)	全日本証券研究学生連盟創設 (証券研究関東学生連盟と機能分離)
1961年(昭和36)	証券研究中部学生連盟創設
1966年(昭和41)	支援団体が山一証券から証券広報センターに移行
2005年(平成17)	支援団体が証券広報センターから日本証券業協会に移行

組織

全日本連盟をはじめ、関東、中部、関西地方に地方連盟があります

証券研究学生連盟は、全日本証券研究学生連盟と3つの地方連盟(証券研究関東学生連盟・証券研究関西学生連盟・証券研究中部学生連盟)で構成されています。

各地方連盟は、各連盟に加盟する大学の証券研究会やゼミナールで構成されています。地方連盟は、各々が独自に討論大会や講演会を開催するとともに、全日本証券研究学生連盟が主催する『証券ゼミナール大会』を共同で企画・運営しています。



証券研究学生連盟の組織図

主な活動紹介

証券ゼミナール大会等を企画・運営

証券ゼミナール大会

証券ゼミナール大会は、全日本証券研究学生連盟が主催して、毎年12月に東京で開催しています。大会は、本連盟の30周年事業として始まったもので、日頃から証券・金融について研究を行っている、全国の大学の証券研究会やゼミナールの学生600名程度が参加し、毎年、白熱した討論が展開されています。

大会では、参加者が予め決められたテーマについて論文を作成し、その分野において造詣の深い大学教授や研究機関の方にご指導いただきながら、2日間にわたり研究発表とグループ討論を行います。最後には、論文の完成度や討論への取り組みをもとに各テーマの討論ブロックごとの優秀チームを選定し、表彰しています。大会中は、学生間の交流・親睦を深めるための懇親会も設けています。

● 討論テーマの例

- ・今後の国内証券市場の活性化について
- ・機関投資家のあるべき姿と証券市場
- ・日本における金融教育のあり方



証券ゼミナール大会 閉会式

春季セミナー大会

証券研究関東学生連盟・証券研究関西学生連盟・証券研究中部学生連盟では、毎月6月頃に「春季セミナー大会」として東京・大阪・名古屋のそれぞれで討論大会や講演会を開催しています。

「春季セミナー大会」は、主に各地方連盟に加盟している証券研究会やゼミナールを対象に開催するもので、証券に関する基礎知識の確認や、「証券ゼミナール大会」に向けた専門的な知識の修得を目的としています。

このセミナーにおいても、「証券ゼミナール大会」と同様に白熱した議論が展開されており、討論や懇親会を通して、大学間の交流を行っています。